

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Contemporary surgical treatment of advanced-stage melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17- 2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Surg	
	雑誌 ID		
	巻	139	
	号	139(9):	
	ページ	961-6; discussion 6-7.	
	ISSN ナンバー	0004-0010 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2004	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Essner R,	Roy E. Coats Research Laboratories, John Wayne Cancer Institute, Saint John's Health Center,
その他著者 1		Lee JH,	
その他著者 2		Wanek LA,	
その他著者 3		Itakura H,	
その他著者 4		Morton DL.	
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	遠隔転移切除後の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	1574 例の遠隔転移切除後の予後に関わる因子をしらべた。 多変量解析で、転移个数（単発）、転移部位（皮膚、リンパ節転移）、所属リンパ節転移を経ない遠隔転移、病期 I,II から IV にいこうするまでの期間、が統計学的に重要な因子であった。
	結論	遠隔転移の切除は有効である。限局した部位、少ない個数の遠隔転移であれば、解剖学的部位を考慮して、根治的な手術を考慮すべきである。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 多数の症例について検討した貴重なデータである。